

奈良時代3（仏教による国づくり）

学習日 月 日

点

- 1 右図を見て、あとの各問いに答えなさい。
- ① 右図の大仏がおかれている、奈良の寺を何とといいますか。
()
- ② ①の寺を建て、右図の大仏をつくらせた天皇はだれですか。
(天皇)
- ③ ②の天皇が、全国の国ごとに建てさせた二つの寺を何とといいますか。
() ()
- ④ ②の天皇のきさきで、まずしい人や病気の人を助ける建物をつくった人物はだれですか。
()
- ⑤ ②の天皇がこれらの大仏や寺をつくらせたのはなぜですか。「仏教」という言葉を使って簡単に説明しなさい。
()



- 2 次の各問いに答えなさい。
- ① 右図の僧(そう)は、唐(とう)から日本へわたろうとして何度も失敗し、目が見えなくなりながら6度目で来日しました。この僧はだれですか。
()
- ② ①の僧が奈良に開いた寺を何とといいますか。
()
- ③ 全国で仏教を広め、橋や道路をつくって人々にしたわれ、大仏づくりにも協力した僧はだれですか。
()
- ④ 奈良時代の終わりごろ、天皇に重く用いられて政治に口を出し、天皇の位につこうとした僧はだれですか。
()



解答

- 1 ① 東大寺(とうだいじ) ② 聖武(しょうむ)
③ 国分寺(こくぶんじ)・国分尼寺(こくぶんにじ) ④ 光明(こうみょう)
⑤ （例）病気が広まり作物もとれず苦しんでいた国を、仏教の力で救おうとしたため。

- 2 ① 鑑真(がんじん) ② 唐招提寺(とうしょうだいじ)
③ 行基(ぎょうき) ④ 道鏡(どうきょう)